

みなさんへ

このあいだは、こうえんかいにきてくださり、ありがとうございました。

みなさんに、てがみのことをしてもらおうとおもって、いろいろじゅんぴしてきましたが、さんねんなことにというか、すばらしいことにといおうか、みなさんにしてもらうことは、ほとんどありませんでした。

というのは、みなさんは、さいしょから、てがみをかくときに、いちばんたいせつなことを、していたからです。

まずさいしょに、「ありがとうてがみ」をかきましよう、ということで、すきないろのハガキをえらんでもらいました。すると、みなさんは、わたしのよそうとはまったくちがい、みんなバラバラのいろをえらびました。しろやきいろをえらぶひとばかりだとおもっていたのに、みんないろいろで、くろいハガキをえらぶひとまでいました。なんて、すばらしいことだろうとおもいました。

というのは、てがみをかくときにたいせつなことのまずひとつは、じぶんがかきたいなあ、とおもえるかみや えんぴつやクレヨンなどのかくものを、えらぶことから始めるのがいいからです。「ぼくは、あのひとへのありがとうだったら、このいろのかみにかいてみたい」、「わたしは、あのひとへのありがとうだから、きれいないろのクレヨンでかこう」と、なんだかとてもたのしそうだなおもうことが、すてきなてがみをかくためには、とてもひとつようです。

そして、ひとはちがう、じぶんだけのかんかくをしんじることともたいせつです。かんかくとは、じぶんがいいな—というかんじのことです。みなさんは、まえのひとがしろいハガキをとったからといって、それにまどわされることなく、じぶんがいいとおもういろのハガキをえらびました。それは、みなさんにとってはあたりまえのことかもしれませんが、だんだんおおきくなっておとなになると、ひととはちがうことが、いけないことのようにおもえてくることがおおくなっていきます。ひととちがうと、なかまはずれにされると、おそれるようになってしまうことさえあります。

ひとのまねばかりすると、どうなるかという、じぶんだけがもっているたいせつなきもちを、あいてのひとにつたえることができなくなってしまいます。

「ありがとう」と、ことばにすれば、みんなおなじでも、そのなかみは、みなさん、ひとり

ひとり、まったくちがうはずです。あるひとは、ちょっとだけありがとう、というきもちかもしれません。あるひとは、ものすごく、いいあらせないぐらいのありがとうというきもちかもしれません。そして、ありがとうということばのなかにこめたいのは、かんしゃのきもちだけでなく、うれしいきもちもあるはずです。すると、そのうれしさもまた、ひとによっていろいろだから、そのひとらしいうれしさをあらわすことがたいせつになってきます。

そんなことが、てがみをかくときにはたいせつだとおもっているわたしは、みなさんの「ありがとうてがみ」のかみえらび、クレヨンなどのかくもののえらびかた、そして、かいたえやぶんなどをみて、みなさんのさくひんが、ひとりひとりおおきくちがっていたし、かいているようすが、とてもたのしそうだったり、しんけんだったり、しゅうちゅうしていたりしていたので、こうえんかいのはじめから、もうみなさんにおしえることは、なにもないとおもってしまいました。

おともだちへのありがとうのてがみには、おともだちとじぶんのかおがかかれ、ふたりは、いっぼんのひも（キズナかな？）のようなものをにぎって、そのひものかたちはハートです。ハートの中には、「大好き」のもしもあります。ありがとうというきもちとだいすきというきもち、とてもちかいところにあることをおしえてくれました。

ハガキのまんなかに、おおきくりょうてをひろげたえがおいっぱいのじぶんが、ありがとうといっているえをかいたひともいました。はがきのまんなかにじぶんをかくことによって、ゆったりとした、どうどうとした、ちからづよいありがとうが、ストレートにつたわってきます。

ありがとうのもしを、はなまるのはなのわでかざったひともいました。ありがとうのもしを、はなでかざると、にぎやかでごうかなありがとうがつたわります。

ありがとうのことばはなくても、おんなのこふたりとチューリップとヒマワリをかいたひとがいました。おんなのこふたりは、とてもたのしそうです。そして、おはなはきれで、かわいらしいかんじです。とつてもたのしく、かわいらしく、きれいなよろこびのイメージをつたえることでも、このひとだけのユニークな「ありがとう」がつたわっているなとおもいました。

「ままへ」というてがみには、クマとウサギのえがちいさめにかいてあって、にひきとも、とてもたのしそうです。そしてハガキのまんなかに、ほしじるしとハートとヒマワリと、あかいはながならんでいます。ママへのプレゼントでしょうか。あおいろのクレヨンでかいた★とピンクの♥が、とてもいんしょうてきす。よくみると、クマとウサギの上にも★がか

かれていて、たのしくなってしまうです。

「おかあさんへ」のありがとうがは、♥のえとともに、ぶんがユニークです。いつものおいしいごはんへのありがとうのことばのあとに、「おかあさん 大大大大大大大大大大大すきだよ」のもし。そんなにだいすきなんだと、すきだよというきもちのおどろくほどのおきさが、しっかりとつたわってきます。

あかくてふといじで、「ありがとう」とかいて、りぼん、ハート、ほしのえがちらばめられ、ハガキのまんなかには、ふたりのひとが、とてもうれしそうに、だきあっているてがみもありました。あかはおめでたいいろだから、あかい「ありがとう」は、とってもおめでたいかんじがしてきます。そして、だきあっているぐらいだから、だいすきで、ことばだけではつたえきれないうれしさやよろこびやかんしゃを、このひとはからだでつたえたいんだということが、よくわかります。

「センキュウ ベリイマッチ」とかかれたものもあります。あおいうみとしろいなみがしらと、ヤシのきでしょうか、ヨットもうかんでいます。ハワイみたいなリゾートのえです。とってもなつらしいステキなえと、えいごのありがとうが、さわやかでフレッシュないんしょうのかんしゃをつたえていて、とてもみりよくてきです。

おぼえたてのひらがなで「ありがとう」とハガキのみぎのはしにかいて、じぶんのなまえをはがきのまんまんなかにはっきりかいたひともいました。なんてステキなレイアウトでしょう。えがなくても、もじのいちや、なにもかいていないよはくが、すっきりとした、せいけつで、さりげないありがとうをつたえています。

おやおや、これは、またふしぎでおもしろいありがとうです。ひらがなをおぼえはじめたひとのようです。ぼくらがかくひらがなとは、まだすこしちがいますが、ひらがなに生まれようとしているもじのあかちゃんが、いっしょうけんめい、ありがとうをつたえているかんじがして、うれしくなります。クレヨンでかいたいろいろなかたちもあり、おはなにみえたりハートにみえたり、おんなのこのかおにみえたり、いろいろなものにみえてくるまほうのえです。おとなにはぜったいにかけない、にごりのないありがとうです。

へのへのもへじのような、もじがかおのようにになっているハガキのえもあります。そして、みどりのふたばのえが、ふたつかかれています。2たす2でよつばのクローバー、しあわせのしるしでしょうか。ハートもあります。なんだかたのしくしあわせなきもちにしてくれるありがとうがみです。

おじいちゃんとおばあちゃんへのありがとうでしょうか。バーベキューをしてはなびをして、たのしかったよることが、えとぶんでかかれています。えは、おじいちゃんとおばあちゃんのように。りょうてをあげて、よぞらを見あげて、とってもとってもたのしそうです。じぶんではなく、おじいちゃんとおばあちゃんのたのしさをえがくことで、じぶんのたのしかったきもちや、ありがとうのきもちを、とてもゆたかにつたえていて、おどろきました。

はなびがはっしやされるつつから、いきおいよくふきだしているえをかい、ありがとうをつたえようとしたハガキもありました。ことばはありませんが、これをうけとったひとは、あのひのはなびのことだな、たのしかったんだな、とすぐにわかります。てがみは、あいてとじぶんがわかればいいのです。だから、ことばなんかいらぬこともあります。あいてとじぶんにしかわからないえやことばで、てがみやハガキをかくと、とてもオシャレで、ゆかいなものになることを、これをかいたひとは知っているようです。すばらしい。

くろいはがきにくろいクレヨンでもじをかい、おマメのようなかたちをしろいクレヨンときいろのいろえんぴつでしょうか、ふたつき、おマメのなかにくろいめをかい、かおのようにしている、ざんしんなありがとうがみをかいたひともいて、びっくりしました。おとなのざっしなどでは、ときどき、くろいペーじに、ひかりかたのちがうくろのもじをいんさつする、とてもおれしやれなデザインのものがありますが、それとおなじです。このひとは、どうしてそんなことをおもいついたのでしょうか。とってもオシャレですばらしい。くろいかみにしろいクレヨンでかいたおマメのかおもまた、とてもかわいらしく、オシャレで、そしてシュールです。

くろいはがきをつかったひとは、もうひとりいて、こちらは、くろいはがきをこくばんのようにつかいました。チョークのようなしろのくれよんで、ありがとうのことばと、これからもよろしくということばと、だいすきだよのことば。くろいはがきのこんなつかいかたも、なるほどおもしろい、インパクトがあると、かんしんしました。

けずりえをじょうずにつかって、ママにありがとうをつたえたハガキもみごとです。まず、きいろなどでしだじをぬって、くろでぬりつぶし、たくさんのおはなのかたちをけずりだし、ママへ、いつもありがとうのもじなども、けずりだしています。たくさんのおはなは、かんしやとよろこびのしるしです。くろばっくにきいろいはながたくさんさいているから、なつのよぞらのはなびのようないんしょうもあります。こんなひょうげんもとてもいいなとおどろきました。

それから、みなさんのけずりえのさくひんについても、いろいろかんそうをいいたいきがし

ます。けずりえもみなさん、ぜんいん、すばらしい。みんな、じぶんらしいえをけずりだしていたからです。そして、いっしょうけんめいに、たのしくやっていたからです。そのたのしいきもち、いっしょうけんめいなきもちは、かならず、みなさんのけずりえをみるひとにつたわります。どんなにえがじょうずでも、たのしく、いっしょうけんめいかいていないえは、ひとのこころをうごかしません。

みなさんのありがたいハガキも、けずりえも、ぜんいんのさくひんが、ひゃくてんまんてんのひゃくてんではなく、ひゃくまんてんです。けずりえについても、いろいろかんそうをおつたえしたいのですが、ずいぶんながくなってしまいましたので、このあたりでやめます。

はいけいとかけいぐとか、てがみのかきかたをべんきょうすることもひつようかもしれませんが、それより、もっと、もっと、もっと、もっと、もっと…たいせつなことを、みなさんは、もうしっています。あいてのひとのことをあたまにおもいうかべて、たのしく、いっしょうけんめい、ていねいに、じぶんのきもちをつたえようとすること、そのきもちをもちつづけたら、だれにもまけない、あなただけの、すばらしいハガキやてがみを、かくことができるはずです。

みなさんとたいせつなじかんをすごすことができて、しあわせでした。

ありがとう。

てがみをかくときにいちばんたいせつなことを、みなさんから、あらためておしえてもらいました。

またいつか、みなさんにおあいできるひを、たのしみにしています。

2018-8-22

なかがわ えつ